

(様式1)

学校番号 (小・中 34)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(三方原小) 学校運営協議会長

<本年度の目標>

- 本校の良いところをさらに伸ばす。特に、元気なあいさつができることや、子供たちの自主性を伸ばすために、地域でできることを具体化して呼び掛ける。
- PTA活動の改善内容について理解を深める。
- いじめ防止や不登校についての内容理解に取り組む。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ (ア) よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

- ・学校運営の基本方針といじめ防止の基本方針についての説明を受け、理解を深めるとともに学校の育てたい力について熟議することができた。
- ・各学年の教員の挨拶があり、児童の目標や様子、良いところについて理解できた。
- ・学校評価アンケートの結果を資料として、学校の子供たちの現状を知ることができた。また、児童と保護者、教職員によって実態の感じ方に差異があることを認識できた。
- ・熟議において委員の発言も多かったと感じる。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ (ア) よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

- ・学校からの情報発信で、学校の課題やニーズについて理解することができた。
- ・自治会でのボランティア募集の検討、回覧など、活動の役割分担について考えられた。
- ・振り返りや反省の時間をより設定したい。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った (イ) 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

- ・協議結果について、自治会の役員会で報告した。
- ・CSだよりで地域とのつながりや学校支援活動の情報発信ができていたと感じた。
- ・学校からの要請、要望に関するボランティアの募集をし、情報発信を行った。
- ・通学路の様子や安全対策について安全ボランティアで話し合い、共有した。
- ・PTA前会長と現会長が協議委員になっていることで情報の共有ができた。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

- ・学校の状況や子供たちの様子を把握し、学校の課題を共有する。
- ・学校、家庭、地域の連携を深めるための学校支援活動について計画する。
- ・いじめ防止に向けた更なる対応案を検討したい。